

復興への願い 大空に届け！

あすと長町仮設住宅でもちつき・たこあげ



「たこあげは初めて」という子どもがほとんど。大人も童心に帰って楽しみました。

前々日の雪から一転、晴天に恵まれた二月十九日(日)、「餅つき&たこあげ」が、あすと長町仮設住宅の広場で行なわれました。地元のアすと長町町内会をはじめ、ほっと亭や、青年ジャンボリー、つばさ薬局など八団体、約五十名のボランティアが汗を流しました。

杵と臼を2セットでフル回転し、つき立ての美味しいお雑煮とあんこ餅二百食を提供しました。各方面から寄せられた生活物資コーナーにもたくさんの方々が。東京から駆けつけていただいた「風の会」の方々の指導により、あちこちに舞う風を見て、歓声と拍手が響きわたりました。このイベントには、あすと長町の「さわやか班」も主催者として関わり、大奮闘していただきました。

なお、全日本民医連の「青年ジャンボリー」(全国の民医連の病院で働く青年職員のつどい)が宮城で開催されますが、三月二十五日(日)に同じ会場で午後一時半か

長町病院
友の会だより

第188号

発行 長町病院友の会
〒982-0011
仙台市太白区長町 3-6-1
Tel 248-6702
メールアドレスでまいた
n.tomonokai@gmail.com



高橋千秋さん(若林)

長町病院友の会 第36回定期総会のお知らせ

と き: **4月28日(土)**

午後1時から3時半

会場: 太白区中央市民センター
3階大会議室

この1年間の活動を交流しながら、これから友の会活動をどうやって進めていくかみなさんのご意見を伺いたいと思います。

ぜひご参加下さい。(無料です)

ら「縁日」をおこなう予定です。長町病院友の会でも、ステージ等で協力いたします。



「よいしょ、よいしょ」の掛け声の中、みんな交代でもちをつきました。

聴診器

あの東日本大震災から一年が経過した。揺れは遠く関西まで伝わり、巨大な津波と共に平地でも大きな犠牲を余儀なくされた▼加えて、福島第一原発の放射能被害は、世界を震撼させた。自然の猛威の前で人間の非力さをまざまざと見せつけられた▼津波被害で一命はとりとめたものの、家も財産も家族や仕事までも奪われた人々や、放射能で長年住み慣れた町から追い出された人々の苦悩はいかばかりか…。一年経った今も、その傷は癒えず、解決の糸口さえいまだ見えない▼仮設住宅の住民は、宮城県は大手ネココンに建設を丸投げしたため、寒さ対策など住環境が劣悪な中で生活している。待ったなしなのだ。自己資金の少ない被災者が立ち上がる上で、公的な後押しが急務だ。しかし、国や行政の対応は後手後手にまわっている▼消費税や派閥抗争の前に、被災者の命と生活を優先した政治を望む。

(Y・M)



会場のあちこちで談笑が

優秀賞を獲得しました
また、顧問の大沼宗彦さんのけ
ん玉や、T P P (環太平洋連携協

今年一年元気に過せますように

～新春のつどいに100人の笑顔の輪～



オープニングは
新春らしい「鶴亀」
の舞いー
今年の新春のつ
どいは二月五日、
太白区文化センタ
ー展示ホールで、
百名近い参加で開
催されました。
今回は参加者の
出し物を審査員が
点数をつけ、表彰
する方式。
十人組の熱演
の中で、「さわや
か班」の「マカ
レア」が、見事最



会場を沸かせた職員寸劇

定)をテーマにした職員寸劇も披
露され、最後は会場が一体となっ
てウェストサイズストーリーの音
頭で「三六五歩のマーチ」。
みなさん心もおなかも満足して
帰られたようでした。



最優秀賞を獲得したさわやか班の「マカレア」

昨年の3.11大震災は、どのような友の会を今つくっていく必要があるのか改めて考えさせられました。

私たちは、以下の三つの目標掲げて、今後一年間活動していきたいと考えています。

- ①「自分と家族の健康」「地域の健康」「社会の健康」づくりをもっとも大切に行っている集まりとしての役割の強化
- ②「被災者」「長町病院」「友の会」の震災からの復興をすすめる。
- ③「班」と「サークル」を友の会づくりの両輪と位置づけ、活動をすすめる。

長町病院友の会は「健康・いのちをもっと大切に考え行動する集まり」「参加することが生きる力、やりがいになる集まり、楽しい友の会」を変わらぬテーマに活動してきました。そして5,000名を超える会員に支えられる友の会に発展してきました。このテーマは、友の会の存在意義そのものです。

この数年の活動はサークル活動が発展した年だという事ができます。2006年6月高齢者配食サービス「ほっと亭」設立。2007年総会「健康づくりのため

の楽しいサークルづくり」を提案。ボランティア、健康、趣味のサークルが次々とつくられました。この時期に、うたごえ喫茶、歩こう会、お父さんの料理教室、ウェストサイズストーリー、絵手紙教室、映画を観る会などがつくられ、定着・充実してきました。今までであったすみれ会、踊り、川柳、民謡、童謡、農園サークル一緒になって友の会員を元気にし、地域にも目を向けた

震災から本格復興1年目の

総会を成功させ、活動の飛躍を

第36回総会のポイント

友の会事務局長 中田 寿人

多彩な活動となってきています。

「友の会の健康づくり・地域づくりを具体的に語れるようになってきた」「サークルの広がりやすさを生かして地域との関係がしっかりある友の会らしい活動をめざせる」「外から友の会の活動が見える」と会員の声が寄せられています。

ブロック活動もしっかり地域に目を向けた活動が意識的におこなわれるようになってきました。西部Ⅱ、名

取ブロックだけでなく他のブロックへと広がりを見せています。一方、元気な活動を続けている班はありますが、班会議が開かれなくなり、壁にぶつかっているところも多く見受けられます。

新年度の友の会第36回総会で特に強調することになるのは、震災でよりつながりを強めることが求められているこの時期、「サークル活動で培った力を、地域のブロック、班活動で発揮する年にする」「班とサークルの両輪で友の会を支え発展させていく」ことです。

震災での支えあいの経験など友の会員が地域に目が向き、隣の人の生活と関わろうとする楽しくやりがいのある活動をつくり、それを支える担い手がたくさん生まれてくる必要があります。



友の会の活動の場を広げること、友の会の会員を増やしていくことが、復興に役立ち元気にしていると確信できる36回友の会総会にしていきたいと思います。

長町病院新病院建設に向けての到達

長町病院は、「生活を支え、再建する」ための医療・事業活動を重点に構想議論を開始し、クリニック跡地に新病院を建築し、現在の病院建物を改修し介護を中心とした事業展開を行う構想を中心に検討しました。優先課題に入所系介護事業展開（有料老人ホーム二十四室事業化とショートステイ事業展開）を柱とした介護事業構想、慢性疾患外来の再構築、入院環境整備を位置付けました。

昨年十一月以降、宮城民医連理事会など主要な機関会議で事業構想や経営計画の説明を行い、基本合意を受けました。

現在は新病院基本設計（図面）検討が最終段階に入りました。一階には外来全科および内視鏡、放射線、検査部門が配置されます。震災後外来環境が特に劣悪となりみなさまにはご迷惑をおかけしていますが、ゆつたりと広く、ゆるやかに明るく、患者導線や業務の効率性、診察や待合での声や音の機密性、衛生環境なども考慮された診療環境を提供できると考えています。また、入院機能は二階、四階に予定され、これまでより広

く明るい病棟です。回復期リハビリ棟（三階、四階）は各病棟内に一〇〇㎡を超える訓練室が確保されます。医療の安全性や感染対策（衛生環境）、広さ・明るさ・省エネ（Eco）にも配慮しました。図面は友の会事務所でも閲覧可能です。今後はホームページ等でも確認できるしくみを検討中です。

テンポは流動的な面もありますが、二〇一二年秋口には工事着工を現在計画しています。引き続きご協力と、少しの辛抱をお願いします。到達のご報告といたします。

長町病院 事務長 大山 泰人



新長町病院イメージ図です

温泉と食事で

湯ったり交流

若林ブロック

立春が過ぎたとはいえまだ寒い二月九日、恒例行事として「秋保温泉・ばんじ亭」に行きました。今回は初めての方や会員外の友だちを誘っての参加者もあり、いままでになく大勢でにぎやかでした。友の会に赴任したばかりの平尾さんも参加し、長町病院の再建と今後の方向性、そしてTTPがもたらす医療問題等、わかりやすく話され、充実した内容で、質問や要望も出されました。

食生活について

知識が増えました

向山四丁目班

磯野 サダ

その後は、ゆっくり温泉につかり日頃の疲れを癒しました。昼食は、前評判どおり大変おいしい料理が盛りだくさんで満足でした。午後は、各々自由時間としてカラオケ・おしゃべり・散策などで交流した後、次の再会を楽しみに会場を後にしました。

私たちの班はご近所づきあいから始まった、気心知れた集まりです。二月は「コレステロールについて学びましょう」をテーマに、班会を開催しました。

講師は長町病院管理栄養士の板宮歩美さん。日常生活のチェックや、豚も肉と鳥も肉はどちらがコレステロールが多いでしょうなど、クイズ方式で、楽しくコレステロールについて学びました。血液をサラサラにする食べ物など、いままで知らなかったことを

学ぶことができて、とても勉強になりました。次の開催を楽しみにしています。

岩澤 恵子



みなさん、こんにちは

二月より友の会事務局にまいりました平尾伸二です。出身は山形県米沢市、住んでいるのは岩沼市です。みなさんといっしょに、安心して住み続けられる街づくりのためがんばります。どうかよろしくお願いします。



友の会クイズ

▼ヒントⅡ三人にして迷うことなし

A～Nまでの文字を並べてできる言葉は

「タテのカギ」

①英語で書いた作文

②「冗長」と書きます

③細長い棒状の物体で中がくり抜かれている

④鶏のから揚げの一つ

⑦「呑気」と書きます

⑨お湯が漏れること

⑬二年後の干支は

「IIIのカギ」

①「遠日点」と書きます

⑤〇〇〇のクローバー

⑥脳の左半分

⑧「白湯」と書きます

①	N		②	J	③	④		D
		⑤				G		
⑥	A	⑦	L			⑧		⑨
⑩		B	M			⑪		H
⑫			E	⑬				F
	I		⑭				C	



⑩長崎〇〇〇は長崎市諏訪神社の祭礼

⑪肝臓のこと。〇〇を冷やす

⑫器用でないこと

⑭米沢名物、鯉の〇〇〇

出題 小田島とも子

▼前回の答え

「朝はどこから来るかしら」

正解者 十七名

当選者 六名

大友 孝子さん（八木山）

丹野のり子さん（あすと）

佐藤 岩男さん（若林）

安斎 キヨ子さん（西中田）

八巻 学さん（西中田）

末永真理江さん（名取市）

☆はがきに、答え、氏名、住所
よければひとことお書き添え
いただき、表記の友の会まで
メールでも可。通信は紙面に
に掲載することもあります。

正解者の中から6名様に図書
カード進呈。切は4月20日

高齢者の健康づくり

柳生 田中隆二

「水中運動友の会」を主宰しています。泳ぎではなくプールの中で水の特性（浮力、水圧、水温）を利用した体操などを行い、身体に強い負担をかけずに陸上の三倍のエネルギーを使うので老化防止、美容にも最適です。月一回JR小鶴新田より徒歩七分、東総合運動場本館会議室で開いています。参加費は昼食込千五百円。水着、水中帽持参。ご希望の方は（242）7826迄ご連絡下さい。

班会でリフレッシュ

ひより台 林 澄子

月に一度の班会はみんなの元気な顔を見ながら勉強と情報交換の場でリフレッシュしています。一月二月はお休みなので三月の班会が待ち遠しいです。

お仲間になりました

若林 佐藤 岩男

妻の入院をきっかけにお仲間に入れてもらうことができました。

読者の広場

長町病院には二、三度大腸ポリプを取っていただいております。義母もお世話になっており、今回は妻がお世話になりありがとうございました。（一句ほど退院日ナースも連れて帰りたい。健康論謹聴して見舞客）

歯科、再開でホッ

郡山 山本 みゑ子

歯科クリニックが再開したことで何となくほっとしました。近くで安心して通院できる所を探していたからです。いまだ寒い時期ですが予約する方が沢山。少し暖かくなったらと考えています。せめて予約だけでもと早々実行しました。

頭の体操にもっていい

西中田 安斎 キヨ子

退職後は義理の父の介護。その後は十九年になる柴犬の介護。一月十八日老衰で眠るようになった。久しぶりに時間が持てたのでクイズを解いてみたら結構難しい。頭の体操にもってこい。

友の会との出会いに感謝

長町 佐藤 美恵

大震災から一年。昨年の三月十一日は驚きと不安、深い悲しみにおおわれました。私の家も「半壊」と査定され、どうしたらいいかわてました。すっかり困り果てた時、友の会会長の川村さんが快く相談に応じてくださって、補修が終わるまで大変お世話になりました。友の会との出会いに感謝し、心より御礼申し上げます。これからも皆様との絆を大事に、住み慣れた町で元気に過したいです。

山柳

四郎丸 鈴木 洋司

地デジ化と云うけど

我が家デジ化だ

あとがき

震災から一年、本格復興の最初の取り組みとして、フルカラー版「友の会だより」をお届けします。病院の再建、被災者、友の会のみなさんと復興に力を合わせ、より充実した紙面にするため努力します。（事務局）